

近く、殊更淀鳥羽より大坂城戸口まで舟の通ひ直にして、四方に節所を拘北は賀茂川、白川、桂川、淀、宇治川之大河の流幾重共なく、二里三里之内、中津川、吹田川、江口川、神崎川引廻し、東南者、上が嵩立田山、生駒山、飯盛山之遠山の景氣を見送、麓は道明寺川、大和川之流に新ひらき淵立田之谷、水流合、大坂之腰まで三里四里之間、江と川とつゝひて、渺々と引まはし、西は滄海漫々として、日本之地者不及申、唐土高麗南蠻之舟、海上に出入、五畿七道集之賣買利潤、富貴之姿也。

〔國花萬葉記六之一〕大坂大圖

上町とは京橋の大坂之入口、御太城之東のうしろより西は東堀とて高麗橋農人橋等の堀すじを限とす、此所は古より住吉大江の岸の上すじなる故、東堀より西船場の地よりは町に坂有て岸通高し、故に上町と云なり、東堀と云も、船場より東に有故、東横と云り、上町よりは西なる故、上町にしてはさは云べからず、此堀は北今橋の大川口より南へ一すじに、高津の宮の順路へ通り、それを西へくじきながら、川すじを道頓堀と云、此所の角をほりつめと云、道頓堀を北は十筋目に長堀とて、東横堀を西へ流れ、西横堀を十文字に堀通りて、すぐに西濱へ流れ入也、道頓堀と本末ひとしき堀也。

〔半日閑話九〕一文化元子年九月 大坂町中井 大坂附之寺社人數書

都合三拾七万五千五百三拾壹人

内僧七百八拾四人 男拾九万七千九百八人 女拾七万六千八百三拾九人

外四千三百七拾六人 内男貳千貳百拾九人 女貳千五百五拾七人 攝津西成郡穢多村

町數竈數橋書付

一三口町數高六百貳拾町 内貳百五十一町

百九十九町

北組 南組 天満組

一同竈數九万三千九百六拾七軒